



2024年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2024年2月13日

上場会社名 株式会社 ハンズマン

上場取引所 東

コード番号 7636 URL <https://www.handsman.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大園 誠司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長兼経理部長 (氏名) 田上 秀樹

TEL 0986-38-0847

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第2四半期の業績(2023年7月1日～2023年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	16,869	8.6	385	56.4	491	51.0	333	51.5
2023年6月期第2四半期	15,529	0.2	883	17.5	1,003	15.2	687	15.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第2四半期	23.48	
2023年6月期第2四半期	48.79	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第2四半期	26,948	17,396	64.6
2023年6月期	26,324	17,480	66.4

(参考)自己資本 2024年6月期第2四半期 17,396百万円 2023年6月期 17,480百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期		0.00		30.00	30.00
2024年6月期		0.00			
2024年6月期(予想)				30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年6月期の業績予想(2023年7月1日～2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,750	12.6	1,060	31.5	1,280	27.5	870	27.5	61.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年6月期2Q	14,509,800 株	2023年6月期	14,509,800 株
期末自己株式数	2024年6月期2Q	300,200 株	2023年6月期	303,500 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年6月期2Q	14,209,128 株	2023年6月期2Q	14,101,785 株

(注) E S O P信託口が保有する当社株式を「1株当たり四半期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する株式に含めております(前第2四半期累計期間107,814株、第2四半期累計期間471株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、経済活動の正常化へ向けた動きが進んだものの、一方でエネルギー価格や原材料価格の高騰、円安の長期化による物価上昇が続いており、個人消費は節約志向が高まるなど依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社はこれまで同様「お客様の声」をもとにした品揃えの拡充と売場改装を推進するとともに、売場スタッフのコンサルティング販売能力の向上を目的とした商品取扱実技研修会を積極的に開催するなど、より多くのお客様に喜ばれ、お役に立てる施策を継続的に実践しております。

また、2023年10月にオープンしました松原店（大阪府）につきましては、「お客様の声をもとにした28万品目の品揃え」や「楽しく見やすい売場づくり」等が関西地区を中心に多くのマスメディアで紹介されていることから認知度が高まっており、広域から多くのお客様にご来店いただくなど順調なスタートを切っております。

当第2四半期累計期間は、物価高を背景とする買い控えの影響を受けたことなどから、既存店の売上高は前年同期比99.6%となりましたが、松原店の新規出店により、全店ベースの来店客数は前年同期比105.8%、客単価は同102.6%となり、売上高は同108.6%の168億69百万円となりました。

利益につきましては、原材料価格の高止まりや円安の影響で仕入価格が上昇していることにより売上総利益率が前年同期比0.4ポイント低下の31.9%となったことに加え、松原店のオープンに伴う費用や人件費の増加等により販売費及び一般管理費が前年同期比120.8%と増加したことから、これらの結果、営業利益は同43.6%の3億85百万円、経常利益は同49.0%の4億91百万円、四半期純利益は同48.5%の3億33百万円となりました。

(注) 当社は営業開始後13ヵ月経過した店舗を既存店、13ヵ月未満の店舗を新店と定義しており、当第2四半期累計期間においては松原店を除く11店舗が既存店となります。

部門別の業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

部門別	前第2四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)		当第2四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)		増減額	前年 同期比
	金額	構成比	金額	構成比		
<DIY用品> ホビー・木製品、建材、手工具、電動工具、金物、塗料、接着剤、園芸資材、薬剤肥料・用土、植物、エクステリア用品、石材	8,871	57.1%	9,233	54.7%	361	104.1%
<家庭用品> 家庭用品、日用品、インテリア用品、電気資材用品、収納用品、住宅設備用品、季節用品	4,652	30.0%	5,322	31.6%	669	114.4%
<カー・レジャー用品> カー用品、アウトドア用品、ペット用品、文具	2,005	12.9%	2,313	13.7%	308	115.4%
合計	15,529	100.0%	16,869	100.0%	1,339	108.6%

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ6億24百万円増加の269億48百万円となりました。これは主に松原店の出店に伴い、商品が7億77百万円、有形固定資産が3億17百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ7億9百万円増加の95億52百万円となりました。これは主にその他流動負債が12億23百万円減少した一方、長短借入金が16億20百万円、資産除去債務が2億97百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ84百万円減少の173億96百万円となりました。これは主に四半期純利益を3億33百万円計上した一方、剰余金の配当が4億26百万円あったことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ1億88百万円減少の17億3百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、4億88百万円（前年同期は4億95百万円の獲得）となりました。これは主に棚卸資産の増加額が7億59百万円、法人税等の支払額が2億94百万円となったのに対し、税引前四半期純利益が4億91百万円、減価償却費が3億63百万円、仕入債務の増加額が2億37百万円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、18億51百万円（前年同期20億80百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が18億84百万円となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、11億74百万円（前年同期は4億12百万円の使用）となりました。これは主に配当金の支払額が4億26百万円、長期借入金の返済による支出が3億79百万円となったのに対し、短期借入金の純増減額が20億円となったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2023年8月14日に公表しました通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては本日公表の「2024年6月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,892	1,703
売掛金	477	667
商品	7,247	8,025
貯蔵品	65	48
その他	640	242
流動資産合計	10,324	10,686
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,538	9,941
土地	2,117	2,117
建設仮勘定	6,040	22
その他(純額)	997	1,930
有形固定資産合計	13,694	14,012
無形固定資産		
	347	350
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	771	767
その他	1,185	1,131
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,957	1,898
固定資産合計	15,999	16,261
資産合計	26,324	26,948
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,440	2,678
短期借入金	679	2,599
未払法人税等	324	117
その他	2,440	1,216
流動負債合計	5,885	6,613
固定負債		
長期借入金	2,335	2,035
資産除去債務	412	710
その他	209	193
固定負債合計	2,957	2,939
負債合計	8,843	9,552
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,057	1,057
資本剰余金	1,086	1,086
利益剰余金	15,772	15,679
自己株式	△425	△421
株主資本合計	17,490	17,401
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△9	△5
評価・換算差額等合計	△9	△5
純資産合計	17,480	17,396
負債純資産合計	26,324	26,948

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年7月1日 至2022年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自2023年7月1日 至2023年12月31日)
売上高	15,529	16,869
売上原価	10,506	11,483
売上総利益	5,022	5,385
販売費及び一般管理費	4,139	5,000
営業利益	883	385
営業外収益		
受取手数料	75	78
投資不動産賃貸料	58	61
その他	10	7
営業外収益合計	144	147
営業外費用		
支払利息	0	5
投資不動産賃貸費用	21	21
固定資産除却損	—	13
その他	2	0
営業外費用合計	24	41
経常利益	1,003	491
税引前四半期純利益	1,003	491
法人税、住民税及び事業税	252	82
法人税等調整額	62	75
法人税等合計	315	157
四半期純利益	687	333

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年7月1日 至2022年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自2023年7月1日 至2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,003	491
減価償却費	252	363
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	0	5
投資不動産賃貸料	△58	△61
投資不動産賃貸費用	21	21
売上債権の増減額(△は増加)	△82	△189
棚卸資産の増減額(△は増加)	△876	△759
仕入債務の増減額(△は減少)	645	237
その他	△159	681
小計	745	788
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△0	△6
法人税等の支払額	△251	△294
営業活動によるキャッシュ・フロー	495	488
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,078	△1,884
投資不動産の賃貸による支出	△15	△15
投資不動産の賃貸による収入	58	61
その他	△44	△12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,080	△1,851
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	2,000
長期借入金の返済による支出	△80	△379
自己株式の売却による収入	108	3
リース債務の返済による支出	△14	△23
配当金の支払額	△426	△426
財務活動によるキャッシュ・フロー	△412	1,174
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,996	△188
現金及び現金同等物の期首残高	3,358	1,892
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,362	1,703

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。